

お元気ですか



八女市議会です

議会だよりやめ No.169 令和2年8月1日



CONTENTS おもな内容一

- 新型コロナウイルス対策／臨時会・定例会…………… 2
- ここが聞きたい！一般質問11人の議員が登壇…………… 8
- 聞いてきましたまちの声（表紙関連インタビュー）
「八女福島仏壇仏具協同組合」…………… 18

表紙／八女福島仏壇を彩る^{かざ}銚り金具の調金光景
伝統工芸士 隈本好高さん

新型コロナウイルスの難局を

乗り越えるために

新型コロナウイルス感染症拡大抑制のため外出の自粛や感染症予防等に取り組んでいただきました皆さま、休業等にご協力いただきました皆さま、命を守る最前線で働く医療従事者をはじめ新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにご尽力いただいているすべての皆さまに、心から感謝申し上げます。

全国に緊急事態宣言が出されたかつてない事態に、国と地方が共にこれらの課題に対応する支援策を講じています。八女市議会では、日々状況が変化する中でさまざまな対策に取り組んでいます。新型コロナウイルスの影響の長期化が懸念されます。今後も市民の生活が少しでも早く元に戻るよう取り組みを進めてまいります。

対策委員会を設置

八女市におけるウイルス感染症対策本部と八女市議会が連携を図り、対策を推進するため、八女市議会新型コロナウイルス対策委員会を設置しました。

委員	角田 恵一
副委員長	中島 信二
委員	栗原 吉平
委員	服部 良一
委員	田中 栄一
委員	萩尾 洋
委員	石橋 義博
委員	堤 康幸
委員	川口 誠二
委員	高橋 信広

八女市議会新型コロナウイルス対策委員会は、議長、副議長、各常任委員会及び議会運営委員会の正副委員長で構成し、ウイルス性の感染症に対処するための情報の収集や国・県への要望、市のウイルス性対策本部への要請等を行います。

国へ意見書を提出 ▼新型コロナウイルス対策に関する意見書

新型コロナウイルスによる未曾有の難局に対し、国と地方が一体となり、状況に応じた対策を迅速かつ的確に講じる必要があります。

国において新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の着実な推進とともに、正確な情報の提供や各種対策への十分な財政支援などを実現されるよう要望する意見書を採択し、内閣総理大臣や関係大臣等に提出しました。

市へ要望書を提出 ▼新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支援策等について、生活・経済支援など緊急を要する重要事項を八女市長に対して要望しました。

- ・市議会常任委員会の視察研修費予算の活用について →関連5ページ
- ・生活困窮世帯の子育て支援や農林水産業への経済支援について

感染症に対する
議会の動き

令和2年1月16日
国内感染1例目の公表

随時、市執行部から経過や市の対応についての説明を受けました。

市執行部から提供される情報は議員のタブレット端末に随時配信し情報を共有しました。

定例会や会議の開催時に、マスクの着用や手指消毒、密閉・密集・密接の3密を避ける取り組みを行いました。

4月23日、新型コロナウイルス対策委員会を設置しました。

全員協議会において国に対する意見書の内容を協議しました。

緊急支援策第1弾

市内事業者に応援金

新型コロナ対策予算69億2940万5千円を追加補正

一般会計補正予算第1号の主な事業

市の独自支援策

新型コロナウイルス感染症対策事業所応援金

3億5000万円

通称：がんばるバイハ女応援金

▼新型コロナウイルス感染症の影響を受ける地域経済の活性化を支援するため、営業継続の意志があり、市内に事業所を構える事業者に一律10万円の応援金を交付します。

感染症対策用衛生用品の購入

2500万円

▼今後の感染防止のため、避難所等への備蓄や保育所等への配布用として、マスクや消毒用アルコール、防護服、体温計等を購入します。

国の支援策

1人につき10万円を交付
特別定額給付金

62億4000万円

児童手当対象児童1人につき1万円を交付
子育て世帯への臨時特別給付金

7687万円

しかし、支給の対象にならない農家等の人々も同じように困窮に直面しているのではないかと。支援金などが1日も早く市民に届くよう要望するとともに、さらなる追加の支援策を要求し賛成討論とする。

森 茂生

賛成討論(要旨)

八女市独自の「事業所に一律10万円支給する応援金」は、全国でも注目されたように高く評価できると考えている。



(賛否表16〜17ページ)

5月臨時会

5月臨時会は、5月7日の1日間で開催しました。市長から提案された、新型コロナウイルス感染症対策関連の補正予算など4議案を原案どおり可決しました。また、議員提出議案「新型コロナウイルス対策に関する意見書」を可決しました。

5月臨時会において国に対する意見書案を提案し、可決した意見書を国に送付しました。

感染症発生時の議会対応要領を定めました。

5月11日、市に対し要望書を提出しました。

タブレット端末利用活用専門部会において、有事の際のタブレット端末の利活用について検討し、オンライン会議を試行しました。

6月定例会は、支援策が早く実施されるよう、議案を委員会付託せず、本会議で審議を行い即決することで会期を短縮しました。

引き続き現状の把握とともに、市民に必要な支援策が実施されるよう注視していきます。

6月定例会

6月定例会は、6月3日から11日までの9日間の会期で開催しました。新型コロナウイルス感染症対策関連の補正予算など市長から提案された34議案を原案どおり可決しました。また、議員提出議案として「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」を提案し、原案どおり可決しました。
(賛否表16〜17ページ)

取り戻すため

援策に約3億9209万円を追加補正

一般会計補正予算第2号の主な事業

市の独自支援策

新型コロナウイルス感染症対策農林漁業応援金

2億2770万円

通称：がんばるバイ八女農林漁業応援金
▼新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内農林漁業従事者の活動を支援し、農林漁業の持続力強化のため、市内農林漁業者1世帯につき10万円の応援金を交付します。

やめっこ子育て応援金

9539万円

▼新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するため、市内在住の17歳までの児童の養育者に児童1人あたり1万円の応援金を交付します。

八女市プレミアム付商品券助成事業の拡大

拡大分2559万円

▼市内の商店街をはじめ地域経済の活性化を図り、個人消費を喚起するためにプレミアム付商品券のプレミアム率を10%から20%に拡大します。

農林漁業者に応援金を支給 がんばるバイ農林漁業応援金

問 農林漁業応援金をも
らえる要件は。

答 農業、林業又は漁業
を自らが営み、従事して

おり今後も継続の意思があること、農林漁業により得られた収入で年間の主たる生計を立てていることを定めている。

問 兼業が多いと思う
が、主たる生計とは収入
のどれだけか。

答 兼業の方にも幅広く
交付できるように、農業、

林業又は漁業で年間に得られた収入が50%以上と
している。

問 年間収入は、昨年度
だけでみるのか、過去数
年の平均等でみるのか。

答 昨年度の確定申告書
の写しで判断するが、農
産物は、気象や市場価格
等で収入が左右されるの
で、仮に50%をぎりぎり
下回るという場合は、過
去の申告書も見て総合的
に判断したい。



コロナ禍から日常を

市の独自支援策に約3億6599万円、国や県の支

国県の支援策



八女市立学校における学習支援

3億5473万円

▼八女市立学校の児童生徒向けに1人1台のタブレット端末の整備や教育支援システムを構築します。これにより、児童生徒一人一人の個性や能力に応じた分かりやすい学習を支援します。

八女市緊急短期雇用創出事業

2386万円

▼雇用対策として、新型コロナウイルス感染症の影響により働く場を失った方50人を八女市会計年度任用職員として雇用します。

市議会予算の活用

議会費の減額

減額240万円

▼議会から市へ要望を行い、令和2年度の各常任委員会の視察研修予算を新型コロナウイルス感染症の影響により困窮されている市民への支援に活用するため、議会費予算を減額しました。

意見書を採択し国へ提出

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

現行の過疎地域自立促進特別措置法が令和3年3月末に失効します。しかし、八女市を含む過疎地域※が果たしている多面的・公益的機能を今後も維持していくためには、引き続き過疎地域の振興を図り、そこに暮らす人々の生活を支えていくことが重要です。

このため、過疎地域がそこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されるよう、新たな過疎対策法を制定するとともに、引き続き総合的な過疎対策の充実・強化を要望する意見書を採択し、内閣総理大臣や関係大臣に提出しました。

※過疎地域：人口の減少により教育、医療、防災など基礎的な生活条件の確保や担い手の不足等で生産機能の維持が困難な地域。

問 教職員は、学習の遅れ等で日々大変な苦勞があると思うが、ICT(情報通信技術)を活用した教育にあたり、教職員への教育はどうなっているか。
答 月に3回ICT支援員が各学校に回るようにしており、その時に研修会を開催している。まずは、教職員に1回でも多く端末にさわっていただくことからスタートしようと考えている。

端末導入で効果的な学習を
1人1台のタブレット端末を整備

新型コロナウイルスの影響による 国保税軽減制度の周知を

(市広報7月1日号掲載)

八女市国民健康保険条例の一部を改正する 条例の制定について

地方税法施行令の一部を改正する政令等の施行に伴い、国保税の賦課限度額の引き上げと軽減判定の所得要件を緩和する改正をしようとするもの。

問 賦課限度額の引き上げで負担が増える世帯があるが、コロナの影響があるこの時期に改正をすべきではないのでは。

答 国から減免分の財政支援措置が示されているので、所得の減少がみられる世帯には減免の案内



市役所駐車場対策として 駐車場用地を取得

財産の取得について

八女市本村に駐車場用地として土地を取得しようとするもの。約1億6375万円の契約(約2170坪)

問 この用地の取得単価の根拠は。

答 不動産鑑定士の鑑定価格と地価公示価格、現地周辺の土地売買取引等を参考に推計を行い、地権者と交渉して承を得たもの。

問 駐車場用地としては、坪単価約7万5千円は高いのでは。

答 周辺の住宅地等の売買実績では、坪単価10万円から11万5千円程で取り引きされており、この価格と比較すると安価である。

問 駐車場はいると思うが、コロナのこういう時期であり、いったん見送った方がいいのでは。

森 茂生

反対討論(要旨)

国保税は、所得が少なくても大きな負担となる。例年ならともかく、現状を考慮するなら、国は今回の改正を白紙撤回すべきだった。市条例による減免制度を充実させ、高すぎる国民健康保険税を大幅に引き下げるよう求め、反対討論とする。

人事案件 監査委員

次の方を選任することに同意しました。

木下 徳臣氏

農業委員会委員

次の方を任命することに同意しました。

- なかしま ひでのり 中島 秀徳氏
- えさき きよし 江崎 潔氏
- じょうご こういち 城後 公一氏
- うしじま てつや 牛嶋 徹也氏
- いけじり のりよし 池尻 律芳氏
- ますなが かつひろ 増永 勝広氏
- いなば はつお 稲葉 初男氏
- つきあし やすひこ 月足 靖彦氏
- まつお けんいち 松尾 健一氏

反対討論(要旨)

コロナの厳しい中、せめて1〜2年しのがなければならぬ時期に、このような大きな金額を支出するのは反対である。

森 茂生



人事案件

たむら かずひこ 田村 一彦氏

すみ しゅうじ 角 秀次氏

いまむら つぐのり 今村 嗣範氏

うのき としみち 鶴木 利通氏

おおつぼ ちみこ 大坪 知美子氏

かやしま すみお 茅島 澄雄氏

みやけ さとる 三宅 覚氏

こが のりお 古賀 則夫氏

なかむら よしのり 中村 善徳氏

おがわ てつろう 小川 哲郎氏

にたばる かずた 仁田原 一太氏

いりえ やすお 入江 保生氏

なかむら てるよし 中村 輝義氏

ばば やすひろ 馬場 康浩氏

たかやま かずのり 高山 和典氏

緊急支援策第3弾

追加支援と感染防止

独自支援事業に1億9017万円追加、総額10億7806万円

一般会計補正予算第3号の主な事業

市の独自支援策

営業活動に使用する事業所等を賃貸している事業者に4万円を交付

通称：がんばるバイ八女事業所家賃支援金 8194万円

市内交通事業者に車両の乗車定員数に応じた支援金を交付

通称：がんばるバイ八女交通事業者支援金 850万円

新型コロナの予防と感染拡大防止対策に取り組む市内医療機関等に支援金を交付

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策支援金

医療機関 2170万円

障がい者（児）施設等 1340万円

高齢者福祉施設等 2140万円

市内小規模事業主、中小事業主を対象に助成金等の相談や申請書作成を支援

雇用調整助成金等相談事業 400万円

八女市に在住する低所得のひとり親世帯へ1世帯あたり3万円を交付

ひとり親家庭応援金 2235万円

国県の支援策

低所得のひとり親世帯へ児童1人目5万円、2人目以降1人につき3万円を交付

ひとり親世帯臨時特別給付金 7892万円

八女市民会館・岩戸山歴史文化交流館に発熱確認の赤外線カメラを設置

文化施設の感染症防止対策 105万円

7月臨時会

7月臨時会は、7月1日の1日間で開催しました。市長から提案された議案は、新型コロナウイルス感染症対策のため、市の独自施策に約1億9017万円、国県補助事業に約8147万円を追加する補正予算など5議案で原案どおり可決しました。これにより新型コロナウイルス対策の予算総額は、市の独自施策が約10億7806万円、国県補助事業が約68億8105万円となりました（誓否表16、17ページ）

問 がんばるバイ八女事業所家賃支援金について

答 農業者への倉庫や作業所の家賃補助はどう考えているか。

問 影響が出ていれば検討の必要もあるかと思うが、現時点では支援の対象として考えていない。

問 がんばるバイ八女交通事業者支援金について

答 路線バス会社は対象外だが予約型乗合タクシーなど対象の運行をしている部分はどうか。

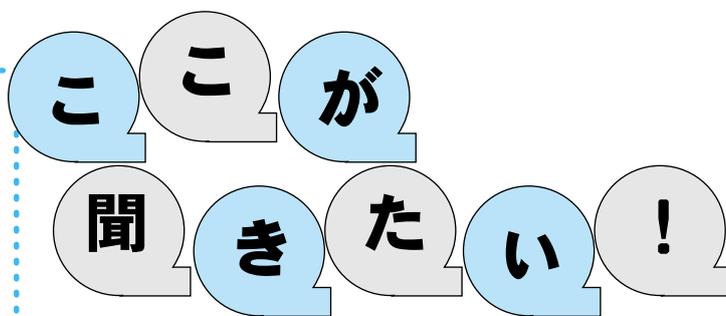
問 路線バス以外の車両で、予約型乗合タクシーや観光バスを運行している部分は対象となるか。



一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を作成し、原則、原文のまま掲載をしています。

ここに掲載できない質問答弁は、八女市ホームページ等ご覧ください。次ページからの各議員の顔写真横にあるQRコードをスマートフォン等で読み取ると、その議員の議会録画映像をご覧いただけます。



一般質問

質問者	質問事項	掲載
牛島 孝之	1 八女市の教育、文化問題について 2 市庁舎、公立八女総合病院について	9
大坪 久美子	1 災害に備え、液体ミルクの備蓄を 2 ひとり親家庭を対象にした、市独自の特別給付金を 3 マスク着用で熱中症が懸念されるので、何か良い方策はないものか	9
三角 真弓	1 新型コロナウイルス感染症に伴う今後の対応について 2 地域のゴミ出しへの対策について	10
栗原 吉平	1 防災について	10
田中 栄一	1 感染症対策に配慮した新たな避難所運営の考えについて 2 長期休校の影響と学校教育におけるICT化の推進について	11
石橋 義博	1 工業団地の進捗と今後の経済対策	11
森 茂生	1 コロナ対策について 2 学校給食について	12
高橋 信広	1 防災・減災対策について	12
松崎 辰義	1 災害対策と新型コロナウイルス対策	13
橋本 正敏	1 新型コロナウイルス感染症対策について	13
高山 正信	1 新型コロナウイルス感染症の影響について 2 国民健康保険の現状について	14



映像配信
サイト



運動会、体育祭は実施できるか、練習時の暑さ対策についての考えは

教育長 現在、各小中学校の校長会で検討を行っている

議員 小中学校の修学旅行についての考えは。現時点では可能な限り実施したいと考えている。

市庁舎建設について
議員 市庁舎建設については、一旦凍結して建設場所の問題も含め考え直すべきでは。

市長 新庁舎建設において、来年度予定している建設工事の着手については、改めて財政状況を見据え検討するなど万全の体制で取り組みたい。

公立八女総合病院問題について
議員 構成団体である広川町との話し合いはなさ

議員 小中学校の修学旅行の説明会はどうするのか。筑後市立病院との統合についてはどうなったのか。

市長 構成団体である広川町との話し合い等については、特別地方公共団体の公立八女総合病院企業が主体的に行うものと認識している。

議員 企業長が全員協議会において説明された病院建て替え140億円という提案を認めるのか。

副市長 構想の概要については説明を受けたが金額についてはなじみも根拠のないところということである。



公立八女総合病院

ひとり親家庭を対象にした、市独自の特別給付金を

市長 国で検討している支援策等を活用し、前向きに検討する

議員 所得が低いひとり親世帯を対象に、国では5万円、第2子以降は一人につき3万円づつ加算の臨時給付が行われるが、8月の振込みと聞いています。今日、明日の生活費がままならない状況に置かれているひとり親家庭を救うために、八女市独自の支援をもう一歩進めていただきたい。

市長 ひとり親家庭の世帯数は児童扶養手当の受給者として把握しており、本年4月現在、574世帯であり、そのうち半数の281世帯が所得100万円未満の世帯である。職を失ったお母さん、お

議員 所得が低いひとり親世帯は、なおさら厳しい状況にあると思うので、十分前向きに検討してまいりたい。

議員 避難所での乳幼児に、お湯で溶かす必要がない液体ミルクを備蓄品の中に加えてほしい。

市長 あらかじめ市が災害協定を締結している事業者の中から調達する体制を構築しており、液体ミルクも同様に対応する。

議員 熱中症が心配。

教育長 身体的距離を確保した上で対応したい。



映像配信
サイト



三角真弓



映像配信
サイト



コロナ禍により令和2年度の予算で不要不急な事業の見直しの考えは

市長 感染症の影響で中止縮小した事業も生じており調査する予定

議員 想定をつかない現状の中で持続可能な財政確保のための予算執行は、課長 事業の縮小・公共施設等の見直し等による物件費の低減を図る。

議員 合併して10年が経過する中で経常経費の増加等による財政の硬直化がみられる。合併後10年間交付されてきた合併算定替も約183億円が終了。今後の人口減による地方交付税の減額等々財政状況は厳しくなる。計画されている新庁舎建設や、べんがら村の大改修等は“今”やるべき事業ではなく、飲食業等大変な危機に遭遇された方々への支援を急ぐべきでは。

市長 まずはコロナ対策を最優先に新庁舎は第2の問題と捉えている。

議員 低所得者層・高齢者等への居住支援の考えは。

市長 相談体制の整備・住宅確保のための給付金を支給する。

議員 3密に考慮した災害への対応は。

課長 臨時避難所を23ヶ所追加する。

課長 臨時避難所を23ヶ所追加する。

議員 現状把握のための予算は不要。民生委員の方々はその実態を把握されていると思うが。

部長 精査し政策化する。

※①物件費 備品購入費・委託料・使用料等
 ※②経常経費 人件費・補助費・借金の返済等
 ※③合併算定替 合併後の一定期間、国から入ってくる交付税



べんがら村
(八女市健康増進施設)



新庁舎イメージ図

豪雨災害避難所の確保と、消防団の充実については

市長 指定避難所と臨時避難所を設ける消防団員の加入促進を図る

議員 指定避難所の安全性は情報を得るものがなく、食糧など無い所がある、早急に整備すべきでは。

課長 再配備をして全ての避難所に置くよう計画する。

議員 ハザードマップの避難所の見直しは。

副市長 地域の収容人数等加味しながら検討したい。

消防団について

議員 地域を守っている団員約1670名の平均年齢が各支団で違うが、年々高齢化してきた。また団員の被雇用率が高くなっている、市は団員確保のため事業所等で働く団員の処遇改善を積極的に行うべきでは。

副市長 企業、事業所への理解と協力体制は改めて依頼していく。

議員 緊急出動に対する団員のマイカー利用の共済も始まったが導入しているのか。

課長 現場まで駆けつける際に事故が起きた場合を想定し調査中である。

議員 第四次総合計画も今年度で終わるが消防団の処遇改善を含め防災体制の見直しも必要では。

市長 団員の皆さんの意見をお聞かせいただきながら対応していく。



映像配信
サイト



栗原吉平





映像配信
サイト



災害時での避難所対策とコロナウイルス対策は、どうなっているのか

市長 避難所の数を23ヶ所から、46ヶ所とし、対策をとっていく

議員 コロナ対策をした場合、三河小、南中に収容できる人数は何人か。

課長 三河小265名、南中202名である。

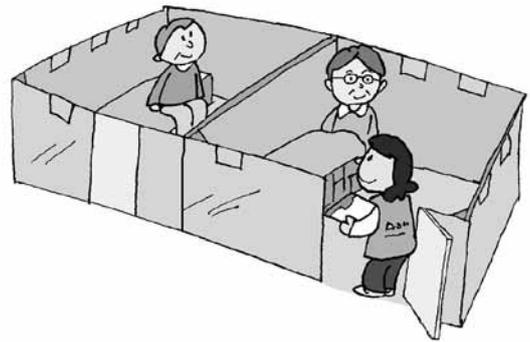
議員 三河校区の川沿いで1047名の市民がいる。どのように避難をさせるのか。

課長 どういう状況のときはどこに避難するということを、行政区単位、隣組単位で話し合い、想定をすることがあるので、そのことをそれぞれの組織にお願いをする。

議員 2012年の豪雨災害では、矢原の堤防が

課長 それぞれの施設、大きさを勘案したところでのレイアウトを考えていきたい。

課長 決壊寸前だった。矢部川沿岸の住民の方々は、特に水害について不安が大きい。きめ細やかな指導と地域での話し合いが早急に必要ではないのか。



映像配信
サイト



がんばるバイ八女応援金の給付状況はどうなっているか

市長 6月9日までの給付予定数、1922件である

特別定額給付金、がんばるバイ八女応援金の給付状況

	対象数	6月29日までの給付数	給付率
特別定額給付金	25,027世帯	24,391世帯	97.5%
	62,380人	61,376人	98.4%
がんばるバイ八女応援金	3,500件	2,500件	71.4%

※いずれも申請締め切りは8月14日

議員 個別対応とは、具体的にどうされるのか。

課長 未申請者の約4割が高齢者の一人世帯と高齢者のみの夫婦世帯である。再度申請書を送付したり、介護保険で担当のケアマネージャー、地域包括支援センター等の力を借りて申請確認をし、給付につなげたい。また、地元の民生委員、行政区長にお願いをし、お宅訪問も考えている。

八女市立学校における学習支援について

議員 市内小中学生の家における約11%がWiFi環境が未設置だが、今後の対応は。

課長 WiFi環境の設置工事、通信料の負担等について検討中である。

議員 すべての子どもたちが家庭でパソコンが扱える環境を整えるべきではないか。

部長 未設置約11%の家庭環境を調査し、極力ゼロに近づけるように取り組んでいく。

議員 特別定額給付金の給付状況と未申請者への対応はどうなっているか。

市長 6月9日までの給付予定数は、2万2928件で、広報やめ、FM八女等を活用した周知に加え、個別の対応に取り組んでいく。

議員 議会の動き

議決結果と賛否

13



映像配信
サイト



農林漁業者・事業者への今後の支援について、どのように考えているか

市長 農林漁業者の持続力の強化と事業者の経営支援につなげる

新型コロナウイルス感染症の影響について
議員 八女の主要農産物の花き類が大きな影響を受けていると聞くが、把握できているか。
課長 コロナウイルスの影響により、花き類の消費が大きく落ち込んでいる。特に、中心的な花きである電照菊は前年と比べて約70%の単価となっている。
議員 タブレットによる自宅での遠隔授業としての活用は考えているのか。
課長 タブレット配備後は自宅での遠隔授業も可能である。慎重に検討している。
国民健康保険の現状について
議員 国の特定検診受診率の目標は60%だが、八女市は40%と低いが、どう分析しているか。
課長 今後なお一層の啓発等を行っていきながら、様々な検診を受けやすい状況等を模索しながら実施していきたい。
議員 ジェネリック医薬品の使用割合は全国平均と比べてどのくらいになっているか。
課長 八女市は77・8%、全国では75・9%、福岡県は76・7%となっており、八女市においては高い状況である。



ジェネリック医薬品とは、新薬と同じ有効成分を配合しながら価格を新薬の3～7割と低く設定

政務活動費を公開しています

～政務活動費は八女市議会ホームページでご覧になれます～

八女市議会

検索

<http://www.city.yame.fukuoka.jp/shisei/12>

政務活動費は、議員が行う先進地の調査や研修への参加、その他議員活動に必要な経費の一部として支給される費用です。八女市では、議員一人あたり年間12万円が交付され、年度ごとに精算し、残額は返還します。

使い道の透明性を確保するため、政務活動費収支内訳書をホームページで公開しています。

議会の動き



5月

- 5日 議会運営委員会
議会基本条例検証作業部会
新型コロナウイルス対策委員会
- 7日 令和2年第2回臨時会
全員協議会
新型コロナウイルス対策委員会
- 11日 新型コロナウイルス感染症対策に関する
要望書提出
- 18日 議会基本条例検証作業部会
建設経済常任委員会
- 20日 筑後六市議会議長会
総務文教常任委員会
- 21日 新型コロナウイルス対策委員会
- 25日 臨時全員協議会
- 29日 議会運営委員会

6月

- 3日 令和2年第3回定例会(招集日)
全員協議会
新型コロナウイルス対策委員会
タブレット利活用専門部会
- 8日 本会議(一般質問)～10日
- 10日 各常任委員会
- 11日 本会議(議案審議)
令和2年第3回定例会(最終日)
全員協議会
市民と議会の意見交換会正副班長会
議会だより編集委員会
- 17日 新型コロナウイルス対策委員会
議会運営委員会
- 25日 臨時全員協議会

7月

- 1日 議会運営委員会
令和2年第4回臨時会
全員協議会
新型コロナウイルス対策委員会
市民と議会の意見交換会正副班長会
- 2日 議会だより編集委員会
- 8日 公立八女総合病院企業団臨時議会
- 9日 議会だより編集委員会
- 15日 総務文教常任委員会
厚生常任委員会
新型コロナウイルス対策委員会
- 17日 八女地区消防組合臨時議会
臨時全員協議会
- 21日 建設経済常任委員会
- 28日 八女中部衛生施設事務組合臨時議会

スマートフォン・タブレット端末で 議会中継をご覧いただけます



インターネットで「八女市議会」を検索
「議会インターネット中継」をクリック!

<http://www.city.yame.fukuoka.jp/shisei/12>



議会を傍聴されたみなさんの声をご紹介します。(原文のまま記載)

～5月臨時会～

○財源が無いの一点張りです。早く財源を確保して東京都や福岡市のように思い切った施策をスピーディーに手を打ってほしい。コロナ対策に対応できないのならば市役所と公立病院の建て替えは中止してほしい。→全市民の投票で審議を決定してほしい。(60代男性)

～6月定例会～

○毎回傍聴者が少ないのは、大変残念です。議会傍聴についての教宣、議会、市、市民一体となった取り組みをあらゆる方面等で周知が、まだまだ不足しているのでしょうか。傍聴者が多くなれば、市議会ももっともっと活性化したいと思います。(70歳代男性)

○議場が変更になり機会が少なくなりました。議会だよりで結果は知りますが、実際の議論を見て知りたいと思い、出て来ました。

(80歳以上男性)

5月臨時会の結果と賛否（令和2年第2回臨時会）

議案番号	議案名	議決結果
議案第44号	専決処分について（八女市税条例等の一部を改正する条例） 説明：固定資産税の死亡者課税に関する現所有者への申告の制度化等の改正	可決(全会)
議案第45号	八女市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について 説明：国民健康保険被保険者で新型コロナウイルス感染症に感染した被用者等に対する傷病手当金の支給を行うための改正	可決(全会)
議案第46号	令和2年度八女市一般会計補正予算（第1号）	可決(全会)
議案第47号	令和2年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第1号）	可決(全会)
議員提出議案第1号	新型コロナウイルス対策に関する意見書について	可決(全会)

すべての議案で全員賛成です

報告（報告事項のため採決はありません）

報告第1号	専決処分について（事故による損害賠償）
報告第2号	令和元年度八女市水道事業会計予算建設改良費繰越計算書の報告について

6月定例会の結果と賛否（令和2年第3回定例会）

議案番号	議案名	議決結果
議案第48号	八女市税条例の一部を改正する条例の制定について 説明：新型コロナウイルス感染症対策で、徴収猶予制度の新設等を行うための改正	可決(全会)
議案第49号	八女市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について 説明：後期高齢者医療被保険者で新型コロナウイルス感染症に感染した被用者等に対する傷病手当金の支給を行うための改正	可決(全会)
議案第50号	八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 説明：国民健康保険税の賦課額の見直しと、緩和措置を行うための改正	可決(多数)
議案第51号	八女市立花農産物等直売所条例の一部を改正する条例の制定について 説明：八女市立花農産物等直売所の利用料金を変更するための改正	可決(全会)
議案第52号	財産の取得について 説明：本庁の慢性的な駐車場不足を解消するために駐車場用地を取得するもの	可決(多数)
議案第53号	訴えの提起について 説明：八女市住宅新築資金等貸付金の請求について訴えを提起するもの	可決(全会)
議案第54号	令和2年度八女市一般会計補正予算（第2号）	可決(全会)
議案第55号	令和2年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第2号）	可決(全会)

議案番号	議案名	議決結果
議案第56号	令和2年度八女市水道事業会計補正予算（第1号）	可決(全会)
議案第57号	監査委員の選任について 《木下 徳臣》	同意(全会)
議案第58号 ～ 議案第81号	農業委員会委員の任命について（24人） 《氏名は6ページ掲載》	同意(全会)
議員提出議案第2号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書について	可決(全会)

は賛否が分かれた議案です

賛成・反対が分かれた議案の賛否一覧

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 一：議長 議長は採決に加わりません	1 中島	2 高山	3 青木	4 川口	5 橋本	6 田中	7 堤	8 高橋	9 石橋	10 牛島	11 萩尾	12 服部	13 大坪久美子	14 寺尾	15 栗原	16 三角	17 森	18 栗山	19 井上	20 川口	21 松崎	22 角田
	信二	正信	勉	堅志	正敏	栄一	康幸	信広	義博	孝之	洋	良一	高良	吉平	真弓	茂生	徹雄	賢治	誠二	辰義	恵一	
議案第50号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

報告（報告事項のため採決はありません）

報告第3号	八女市土地開発公社の令和元年度決算及び令和2年度事業計画の報告について
報告第4号	令和元年度八女市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について
報告第5号	令和元年度八女市一般会計予算繰越繰越計算書の報告について

7月臨時会の結果と賛否（令和2年第4回臨時会）

議案番号	議案名	議決結果
議案第82号	八女市手数料条例の一部を改正する条例の制定について 説明：マイナンバーカードの通知カードが廃止されたことによる改正	可決(全会)
議案第83号	八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 説明：国民健康保険税の減免申請手続きの条件整備を行うための改正	可決(全会)
議案第84号	八女市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について 説明：介護保険料の減免申請手続きの条件整備を行うための改正	可決(全会)
議案第85号	財産の取得について 説明：子どもたちのICT教育環境実現のため市立学校教育用情報機器を購入	可決(全会)
議案第86号	令和2年度八女市一般会計補正予算（第3号）	可決(全会)

すべての議案で全員賛成です

聞いてきましたまちの声

表紙によせて VOL. 2

八女福島仏壇仏具協同組合 理事長 鶴 信行 氏

数々の伝統工芸が受け継がれている八女市。その中の一つである八女福島仏壇について、その歴史から将来像にわたり、鶴信行理事長に伺いました。仏壇業界も新型コロナウイルスにより大きな影響を受けているそうですが、取材に対して、熟知した言葉で伝統技術に対する情熱を熱く語られる姿がとても印象的でした。



組合の歴史についてお聞かせください。

明治15年に旧・福島町（現、八女市）を中心にして、部門別で4つの組合が組織されてから、今日の基礎が築かれています。

戦時中、金箔や漆等の入手が困難な時期を組合の団結力で乗り越え、昭和52年には、経済産業大臣より伝統的工芸品の指定を受け、知名度を上げるきっかけとなりました。

年間通じてどのような活動をされていますか。

代表的には、仏壇フェア、小学生対象の体験授業、仏壇供養祭、日本一の大型仏壇のすす払いを事業として取り組んでいます。中でも、毎年10月27日（毎月27日は「仏壇の日」）に開催する仏壇供養祭は、核家族化が進む中、若い世代で大型の仏壇のお世話ができない家庭が多くなり、依頼される方が年々増えています。



八女福島仏壇の本質は技術力と思いますが、次世代に継承するための考えを伺います。

組合員の多くが高齢化しており、悩みのタネですが、機会あるたびに地道に伝えていくことが重要と思っています。

近年、仏壇に対する価値観が多様化している中、組合の将来像・目標についてお聞きします。

基本的には、伝統的工芸品である八女福島仏壇にこだわりますが、現代的仏壇との両輪で取り組んでまいります。実は、このたび「ふくおか八女仏壇」という新ブランドを立ち上げました。伝統的工芸品の認定条件は6つの工程が必要ですが、新ブランドは3つ以上で認定が取れるというメリットがあり、拡販につながるかと期待しています。

市議会に対してメッセージをお願いします。

更に勉強をしていただき、けんけんがくがく喧々譁々の議論を交わして活発な議会になることを期待します。

議会を傍聴しませんか？ 次回定例会

8月26日(水) 予定
立花庁舎議場 午前10時から
八女市議会事務局 23-4922

西日本と東日本の広い範囲で大きな被害を出した令和2年7月豪雨によりお亡くなりになられた方のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまにお見舞い申し上げます。

八女市議会

編集後記

「コロナ禍によりかつての日常が一変しました。国民の安全安心な暮らしを守るのは国の責任です。財務省は、「日・米など先進国の自国通貨建て国債のデフォルトは考えられない」としています。賃金主導型成長戦略に政策転換し、長期計画の基、積極財政により全ての地域が輝く社会の実現を希望しています。

堤 康幸

発行責任者 議長 角田 恵一
議会だより編集委員会
委員長 高橋 信広
副委員長 大坪 久美子
委員 松崎 辰義
委員 井上 賢治
委員 牛島 孝之
委員 堤 康幸
委員 田中 栄一
委員 川口 堅志
委員 高山 正信